

【要件の評価基準】

- ◎：各要件の評価指標の内、2つ基準値を満たしている
 ○：各要件の評価指標の内、1つ基準値を満たしている
 ×：各要件の評価指標の内、1つも基準値を満たしていない

表4 移動等円滑化促進地区の要件および評価指標に基づく評価結果

	五十鈴ヶ丘駅 【JR】	宮川駅 【JR】	二見浦駅 【JR】	山田上口駅 【JR】	松下駅 【JR】
要件1	○	◎	○	○	○
評価指標（ア）	×	○	×	×	×
評価指標（イ）	○	○	○	○	○
要件2	○	×	○	○	×
評価指標（ウ）	×	×	×	×	×
評価指標（エ）	○	×	○	○	×
要件3	○	○	◎	×	○
評価指標（オ）	○	○	○	×	×
評価指標（カ）	×	×	○	×	○

	伊勢市駅 【近鉄・JR】	宇治山田駅 【近鉄】	明野駅 【近鉄】	宮町駅 【近鉄】	小俣駅 【近鉄】	朝熊駅 【近鉄】
要件1	◎	◎	◎	◎	◎	×
評価指標（ア）	○	○	○	○	○	×
評価指標（イ）	○	○	○	○	○	×
要件2	◎	◎	○	○	×	×
評価指標（ウ）	○	○	○	×	×	×
評価指標（エ）	○	○	×	○	×	×
要件3	◎	◎	×	×	○	×
評価指標（オ）	○	○	×	×	○	×
評価指標（カ）	○	○	×	×	×	×

移動等円滑化促進地区の要件および評価指標に基づいて評価を行った結果、各要件で評価基準を満たしており、かつ総合順位の高い「伊勢市駅・宇治山田駅周辺地区」「二見浦駅周辺地区」を、本市の中でも優先的にバリアフリー化を進めていく地区である移動等円滑化促進地区として選定します。

また、宮川駅等他の駅についても、次回定期見直しの際に社会情勢等を考慮し、評価基準・指標も含め検討していくこととします。

なお、伊勢市駅と宇治山田駅は、本市都市マスターplanにおいて一体的な中心市街地として位置づけていることから、個別に地区の設定を行わず、両駅を合わせた面的なエリアを一つの地区として設定します。

3. 基本的な方針

3-1. 伊勢市のバリアフリーに関する問題点

(1) 問題点の抽出

本市のバリアフリーに関する現況を各種の調査で把握し、下記に示すような問題点を抽出しました。

「現況整理」で市全体の動向や実態を把握するとともに、「住民アンケート」と「関係団体ヒアリング」を実施し、移動に困難を抱えている方などの意見を把握しました。また、それらの結果を踏まえて、移動等円滑化促進地区として選定した「伊勢市駅・宇治山田駅周辺地区」と「二見浦駅周辺地区」において、まち歩き（現地確認）を実施することで、実際の移動を想定した場合の問題点や改良の必要性を把握しました。

また、把握した問題点等を次の5つの視点（キーワード）で整理しました。

伊勢市のバリアフリー化の視点（キーワード）

駅・施設の整備
(新規整備)

経路の整備
(新規整備)

改良
(維持)

情報提供
(ソフト)

意識づくり
(ソフト)

現況整理 ⇒ 【伊勢市全体の動向や問題点】

高齢化社会に向けた対応

- ・人口減少社会
- ・高齢化率の増加
- ・障害者手帳等所持者の増加

来訪者に向けた対応

- ・来訪者は増加傾向
- ・神宮の車イス利用者は微増
- ・神宮周辺や二見浦地域に観光客が集中

バスのバリアフリー化

- ・内宮前バス停、宇治山田駅前バス停、伊勢市駅前バス停などで1日あたりの平均乗降客数が1,000人以上

駅のバリアフリー化

- ・伊勢市駅、宇治山田駅の乗降客数が市内で最多
- ・明野駅、五十鈴川駅で1日あたりの平均乗降客数が2,000人以上

市民アンケート ⇒ 【利用者・市民視点からの問題点】

施設のバリアフリー化

- ・主な外出の目的は買い物や通院、公共機関や銀行、郵便局、子育て施設への用事等
- ・主な目的地の最寄り駅は伊勢市駅や宇治山田駅周辺

通行空間の改良

- ・通路の幅員や道路の凹凸、段差
- ・ベンチ等の休憩施設の有無
- ・バス停やタクシー乗り場での屋根の有無

情報提供・周知活動

- ・バリアフリーに関する情報提供
- ・市などで実施しているバリアフリーに関する取り組みの周知

心のバリアフリーに対する意識

- ・見た目で分からない障がいに対する理解や、移動時の手助け・声かけの必要性
- ・バリアフリーの教育や意識向上